

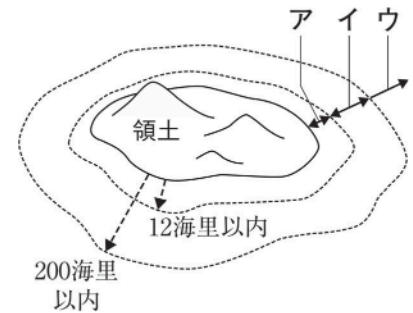
国際①「国際社会の仕組み」

# 国際社会の仕組み A

🕒 7分

1. 海上で国家の権利が及ぶ範囲について表した右下の図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 次の各文章にあてはまる海域を、図中のア～ウから1つずつ選び、記号で答えなさい。また、そのような海域を何というか、答えなさい。



- ① 沿岸国の主権が完全に及ぶ。外国船は、沿岸国に害をあたえずに通過する場合をのぞき、無断でこの海域に入ることはできない。上空は領空の一部であり、外国の飛行機は無断で飛行できない。

記号	[1]	海域名	[2]
----	-----	-----	-----

- ② どの国の船も自由に航行できるが、漁業や資源の採掘さいくつを行うなど、経済的な権利にかかわる行為ができるのは沿岸国だけである。上空にはどの国の権利も及ばず、飛行機は自由に飛行できる。

記号	[3]	海域名	[4]
----	-----	-----	-----

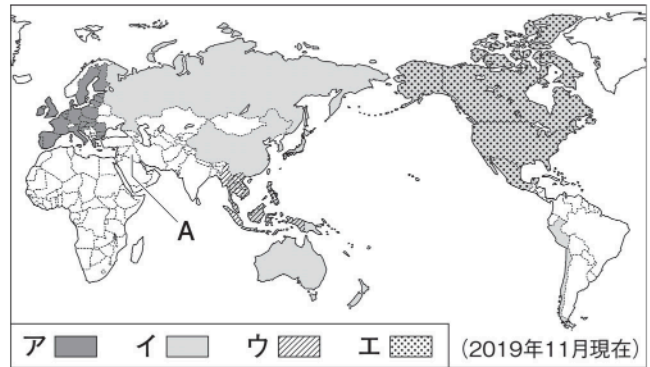
(2) (1)の①や②の範囲は国際法で決められているが、異なる国同士が海をはさんだ近い距離きょりで向かいあっていると、両国の海域の範囲が重なってしまい、境界を定める話し合いも不調に終わることがある。このような場合をはじめ、国家間に争いが生じたときのために、国際連合は、当事国の合意にもとづいて紛争解決の裁判を行うための機関を用意している。この機関を何というか。

[5]
-----

2. 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の説明にあてはまる枠組みの加盟国・地域を、地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、この枠組みの略称を答えなさい。

経済協力を目的に1989年に発足した、ゆるやかな枠組みである。太平洋を取り囲む21の国・地域(2019年現在)が加盟し、現在は、貿易・投資の自由化や経済・技術協力などを柱に活動を行っている。



記号	[6]	略称	[7]
----	-----	----	-----

- (2) 地図中のア～エのように、さまざまな地域統合がみられるが、2国間以上の間で、関税をなくすなどの貿易上の制約・規制を取り除く自由貿易を目指した協定を何というか。アルファベットで答えなさい。

[8]

- (3) 地図中のAの国について、アメリカやイギリスなどが2003年、この国のフセイン政権を倒すために武力攻撃を行い、日本もこれを支持するということごとがあった。これについて、次の問いに答えなさい。

- ① Aの国名を答えなさい。

[9]

- ② この戦争が始まる前に、アメリカとイギリスは、国際連合の安全保障理事会（安保理）で、A国への武力攻撃を認める決議を得ようとした。しかし、フランスが決議に反対する方針を変えなかったことなどから、米英両国は、決議を得ることは不可能と判断して、安保理と関係のない独自の攻撃に踏み切った。両国が、フランスが反対の方針を変えない限り、安保理で決議は得られないと判断したのはなぜか。フランスが安保理でもつ特別な権利の名前と、その内容にふれながら、簡潔に答えなさい。

[10]